

豚熱清浄化及びアフリカ豚熱防疫体制強靱化 のための技術開発促進プロジェクトにおける 野生イノシシに関する実施課題について



NARO

畜産研究部門 動物行動管理研究領域
動物行動管理グループ 上級研究員 平田 滋樹

2018年の豚熱発生後の流れ

- 豚熱発生当初は情報も少なく、国外（主に欧州）の手法を参考として対策を実施されていた

年間、60万頭のイノシシを捕獲
年間、70万個の豚熱経口ワクチンを散布

- 初期発生地域では既に数年が経過し、各地域での経験や知見が蓄積されてきた
- 各地域ではイノシシにおける豚熱陽性個体の確認状況や抗体賦与率等にも変化が生じている
- 国内に適した、状況に応じた豚熱経口ワクチンの散布手法
⇒豚熱経口ワクチンの効率的な散布ビデオマニュアル作成中

豚熱清浄化にむけた野生イノシシでの効果検証と対策推進
(アフリカ豚熱の国内発生に向けた対策強化)

イノシシにおける豚熱対策の現状と課題

年間、70万個の豚熱経口ワクチンの散布
年間、60万頭のイノシシの捕獲



イノシシの動態など

- ① 豚熱対策の効果が見えにくい
 - ・ 豚熱経口ワクチン散布の効果
 - ・ イノシシ捕獲強化の効果
- ② 野外から農場へのウイルスの侵入経路（≒媒介者）が明らかでない
- ③ 農場へのイノシシ等の侵入や接近の抑制に有効な方法と効果が明らかでない

各地域の手法
努力量や効率

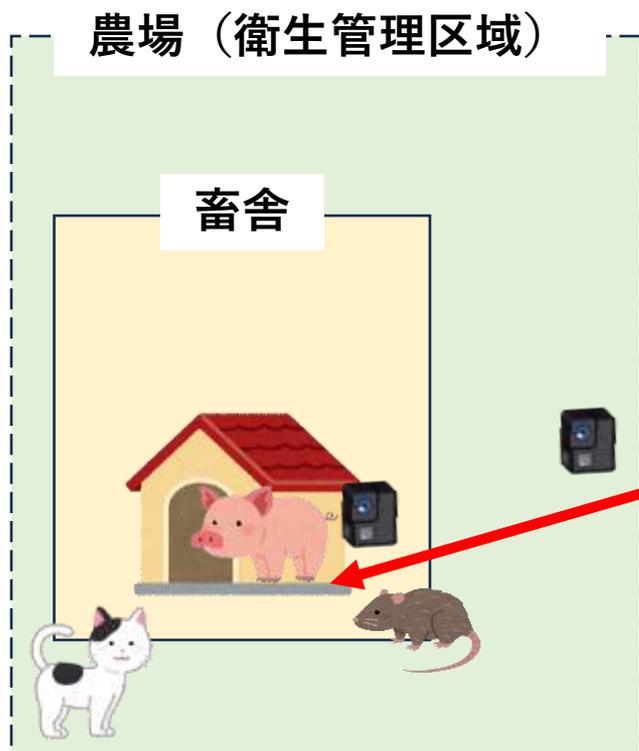
本日の講演内容については、

農林水産省「令和7年度 安全な農畜水産物安定供給のための包括的レギュラトリーサイエンス研究推進委託事業」のうち課題解決型プロジェクト研究「動物衛生対応プロジェクトのうち、豚熱清浄化及びアフリカ豚熱防疫体制強靱化のための技術開発促進プロジェクト」 で今年度より取組中

野外と農場間でのイノシシ等の動態など

野外（山林を含む）

(1) イノシシの捕獲やワクチン散布の効果の検証



(3) イノシシの生態と豚熱伝播様式の解明

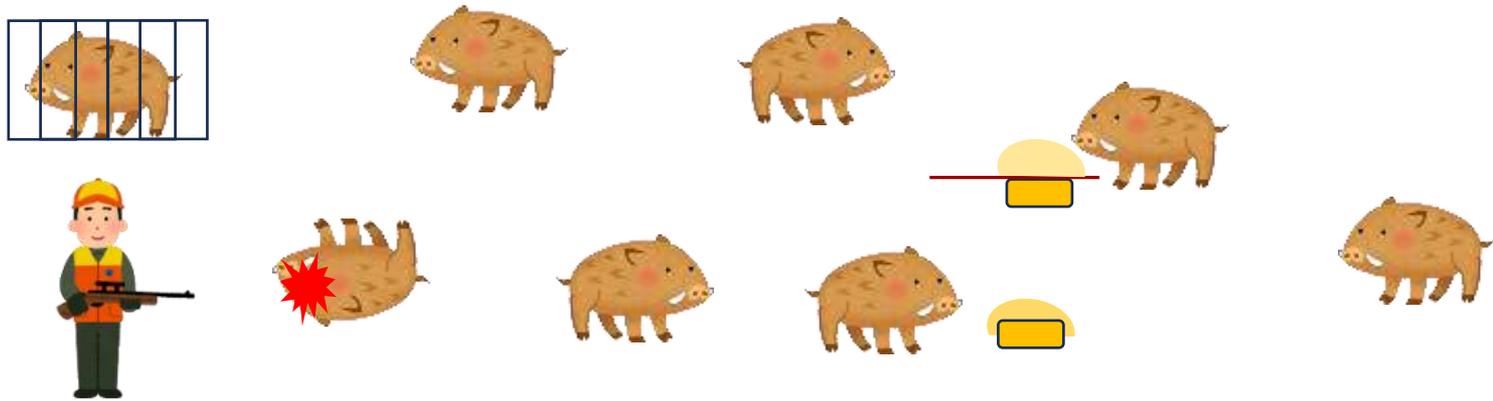
(2) イノシシを含む野生動物の農場への侵入リスクの検証

(4) イノシシの捕獲データ等に基づく個体数や密度の推定

▶ **ブラックボックスとなっているイノシシ動態の解明が必須**

各実行課題の概要 ①

(1) イノシシの捕獲やワクチン散布の効果の検証



捕獲強化によるイノシシの個体数調整
捕獲数だけではなく・・・

- ・ 捕獲手法
- ・ 捕獲努力量/目撃効率
- ・ 捕獲個体の傾向（性別や年齢）
- ・ 捕獲体制や捕獲従事者数
- ・ 捕獲個体の処理方法 など

豚熱経口ワクチンによる抗体賦与
散布数だけではなく・・・

- ・ 経口ワクチンの散布方法
- ・ 散布地点の選出方法
- ・ 摂食確認方法
- ・ 摂食率や摂食個体の傾向
- ・ 散布体制 など

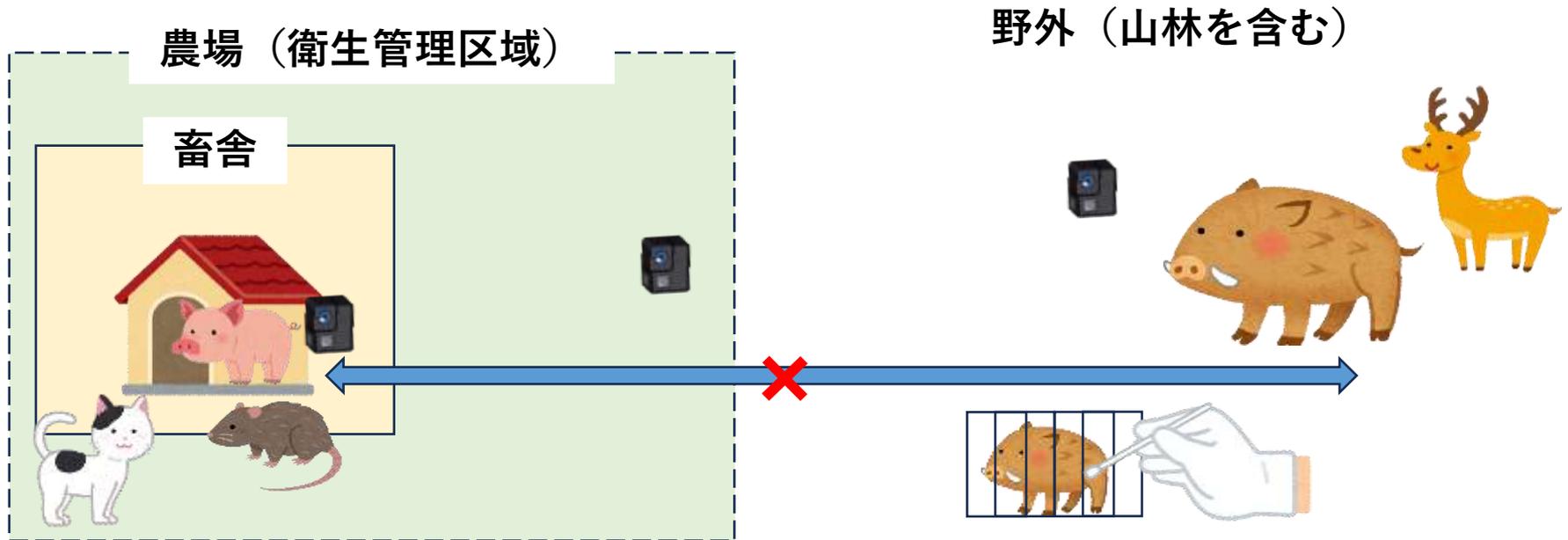
実行課題（2）～（4）と連動



捕獲と経口ワクチン散布の効果を検証

各実行課題の概要 ②

(2) イノシシを含む野生動物の農場への侵入リスクの検証



農場周辺および農場への侵入リスクの検証

- ・ センサーカメラや痕跡調査による動物相調査
- ・ 出没回数や出没頻度の分析
- ・ 侵入防止対策等の実施状況 など

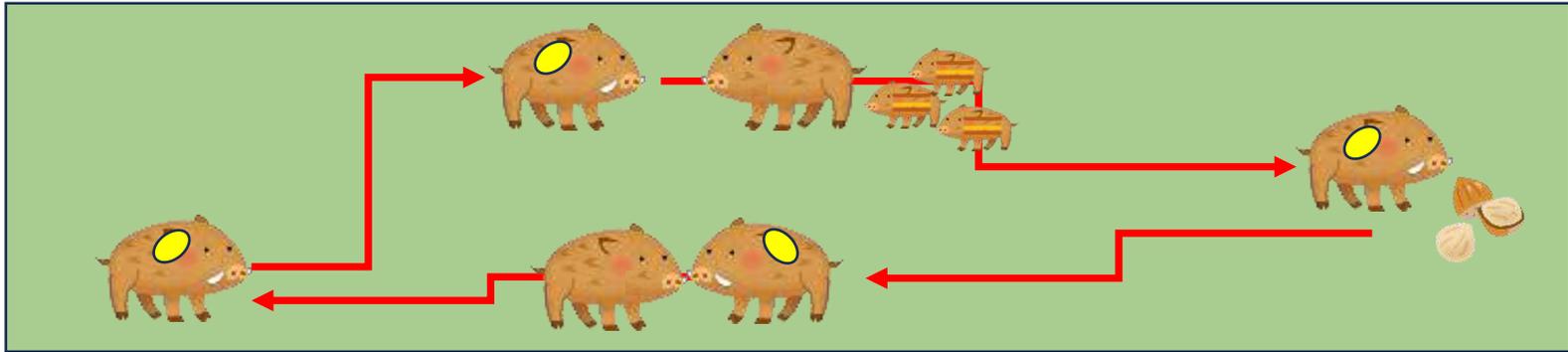
豚病原ウイルスの分布把握

- ・ 捕獲個体等からの採材
- ・ 野外材料の検証
- ・ 検出率や分布状況等の解析など

侵入リスクの検証と侵入防止・抑制手法の検証

各実行課題の概要 ③

(3) イノシシの生態と豚熱伝播様式の解明

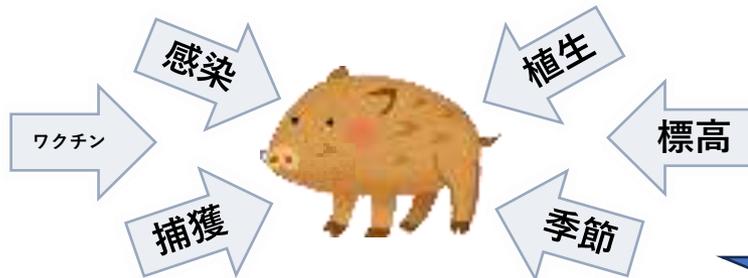


- ・ 生体捕獲
- ・ 耳標式GPSやスマートトラッカーによる追跡調査
- ・ 繁殖期等のオス成獣の行動追跡 など



行動域の経年変化や季節的変動等の解明

(4) イノシシの捕獲データ等に基づく個体数や密度の推定



- ・ 既存データの収集および推定手法の整理
- ・ 国内外の生息調査手法のリスト化
- ・ 捕獲実態の解明、パラメーターの検証 など

実行課題 (2) ~ (3) と連携

イノシシの増減傾向把握手法の検討

想定される研究成果

- ✓ 豚熱経口ワクチン散布の実態把握
- ✓ イノシシ捕獲の実態把握
- ✓ 性別や年齢、季節等によるイノシシの行動範囲把握

➡ **従来、ブラックボックスとなっていたイノシシの動態を解明**



捕獲や経口ワクチン散布の更なる効率化

(いつ、どこで、どんな個体をターゲットにすれば良いか!?)

- ✓ 農場周辺や山林内でのイノシシの行動把握
- ✓ 野生動物の農場への侵入リスクの解明

➡ **農場への侵入防止や接近抑制手法を確立**



アフリカ豚熱対策への応用

実証地①での研究開発

佐賀県武雄市で年間捕獲されるイノシシについて

- 佐賀県と調整し、**捕獲効率**のデータ収集を開始
- 武雄市で捕獲されるほぼ全個体（年間2~3千頭）の**体長**、**体重**、**週齢**の情報を収集
⇒従来にはなかった高精度の
個体群密度推定を検討
- 武雄市で捕獲されたイノシシや
タヌキ等のスワブや糞などから
豚病原ウイルスの分布把握を実施
⇒上記の個体群動態との関係性を
検証
- ワクチン散布の状況、摂食率、抗体賦与率等を分析



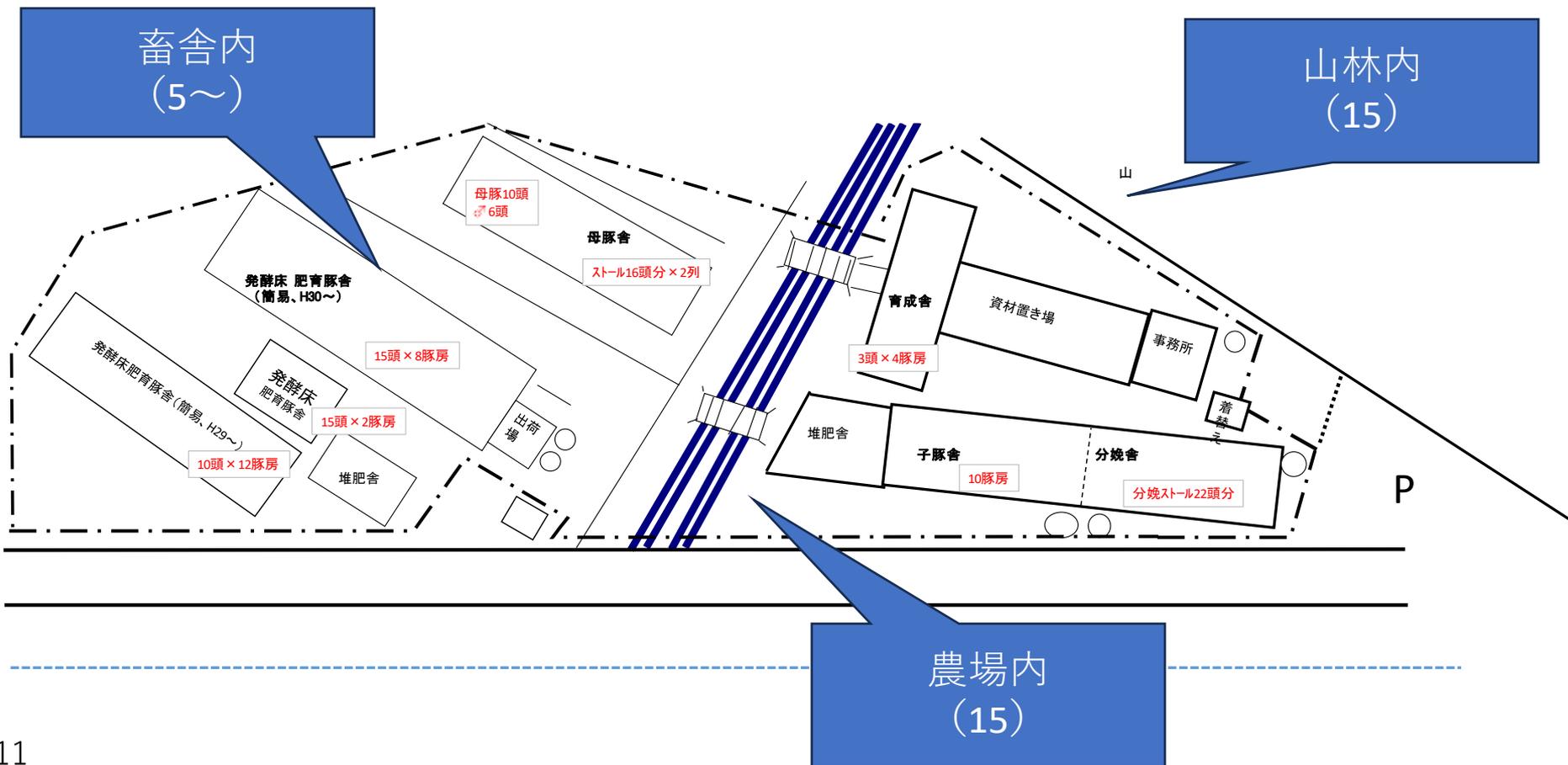
実証地②での研究開発

鳥取県若桜町内の農場において

- センサーカメラおよび痕跡調査による動物相調査
（農場外、農場内、畜舎内）
- 野生動物の農場内への侵入状況等を把握
- 有効な農場への侵入防止や接近抑制対策を検討
- 侵入防止と接近抑制対策の効果検証
- 本実証地における主に糞をサンプルとした豚病原ウイルスの分布把握を実施

イノシシ等の農場への侵入リスクの検証

A県 B農場・・・3代続く農場、繁殖・肥育の一貫農場（400頭規模）
周辺でイノシシにおける豚熱陽性個体が確認（R6年度頃？）
農場周辺でのイノシシ等の野生動物の生息を確認
飼養衛生管理区域に電気柵やワイヤーメッシュ柵を設置



イノシシ等の農場への侵入リスクの検証



2025/04/17 22:34:50

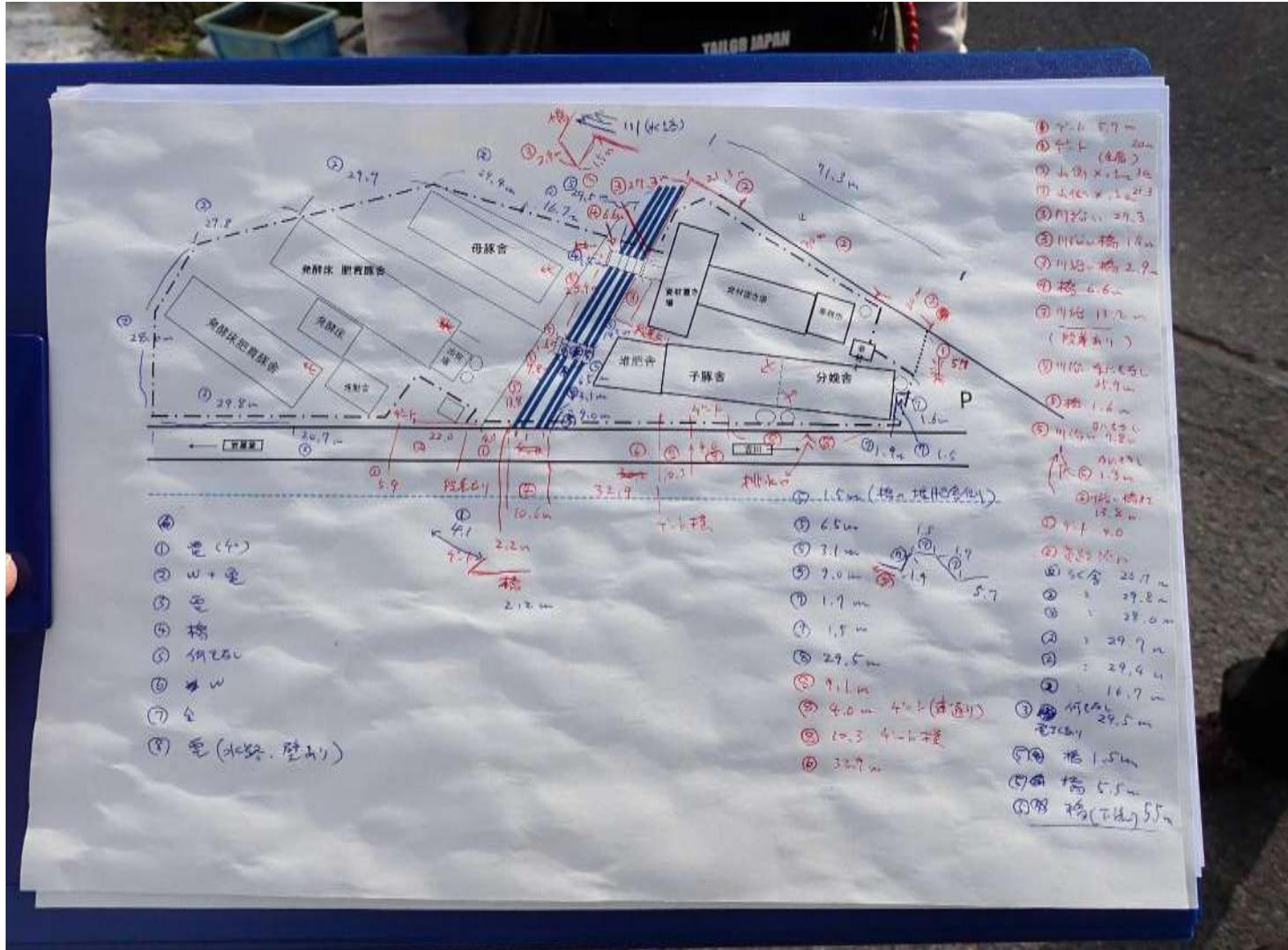
イノシシ等の農場への侵入リスクの検証



侵入リスク軽減手法の検討および効果検証



侵入リスク軽減手法の検討および効果検証



野生動物対策から畜産振興を考える（仮題） ～家畜と野生動物って関係あるの！？～

日時：令和8年3月5日（木）調整中
10時から16時

場所：農林水産省 7階講堂 調整中

内容：畜産振興に係る野生動物研究の最前線
4つのプロジェクトから成果等を紹介